

WING NEWS



Honda **FLYING CLUB**
Honda **FLYING SCHOOL**

234

2019
FEB.

ご挨拶

ホンダフライングクラブ 会長 濱尾 豊

皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのことと思います、ホンダフライングクラブも本田航空様のご協力を頂きながら今年で創部54年になりました。昨年は各地で大雨、台風、地震と自然災害が起きこの埼玉県も昨夏気温が41.1度となり日本最高を記録いたしました。今年は色々な面で穏やかな一年となることを祈念いたします。

昨年のクラブ活動も4月の総会、安全講習会に始まり、本田宗一郎杯争奪競技大会、桶川の小学生対象のジュニアウイングス航空教室など例年通り滞りなく終了いたしました。

又、心配しておりましたクラブ員の減少も今年になりようやく歯止めがかかり新規会員も入会いただき、来季は昨年度と同様の予算が組めそうです。今年の重点目標は会員親睦、情報発信、外国で免許を取られた方に日本の空を楽しんでいただくための受け入れ態勢などの準備やクラブホームページの充実なども行います。会員の皆様には法令遵守、安全運航第一で今年も楽しく日本各地をフライトいたしましょう。



新年あけましておめでとーございませう。

HFC会員の皆様にはおかれましては、よき新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。お陰様で弊社は今年創業五十五周年を迎え、引き続き会員皆様に満足いただけるよう社員一丸となつてのサポートを心掛けてまいりますと考へています。

昨年を振り返りますと、一月の草津白根山の噴火をはじめ、大阪北部地震・西日本豪雨・北海道胆振東部地震など、多くの災害に見舞われた年でした。また、航空安全の領域では、陸自へりの民家墜落／群馬県防災へりの山中墜落事故やエアラインパイロットの飲酒問題も大きく報道でとりあげられました。これらは他人事とは考へられず、航空機事業者として改めて人命の尊さ、安全という言葉の重み・大切さを厳肅に受け止めております。

当社としても小型航空機業界で多発傾向にあるアクシデント・重大インシデント撲滅に向け安全対策に力を注いでおりますが、引き続き、より安全に安心して飛んでいただける環境をつくっていききたいと考へています。

今年は今以上、より安全で高品質なサービスにより、皆様が安心して大空を楽しみ、多くの信頼を得られるよう一層の努力をしていくと共に、充実したHFC活動の一助となるお手伝いを継続していききたいと考へておりますので、宜しくお願い致します。

クラブ員の皆様におかれましては健康に留意し、新たな元号が刻まれる二〇一九年が輝かしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本田航空株式会社 代表取締役社長 中村文彦



コングラチュレーションズ☆

+ 教官からひとこと

○実地試験合格（自家用操縦士）



NO.10474 安念 英莉子 様

2018年11月15日 JA71HU

自家用操縦士合格おめでとうございます。

平成29年5月から訓練を開始して以来、お忙しい仕事の合間に訓練に集中され、僅か1年半で見事実地試験に合格されました。特に訓練ペアの坂口さんとの絶妙なコンビネーションに加えて自ら積極的に訓練内容を立案し、より効果的な訓練の実施に励まれる等、訓練に取り組む姿勢はとても模範的であったと思います。

今後もHFCで飛行されるとのことですので、引き続き飛行安全に留意され、益々飛行機を好きになってフライトをより楽しんでいただけるよう願っております。

担当教官 澤井康二

コングラチュレイションズ☆

+ 教官からひとこと

○実地試験合格（自家用操縦士）



NO.10475 坂口 正 様

2018年11月1日 JA71HU

自家用操縦士合格おめでとうございます。

平成 29 年 5 月から訓練を開始して以来、お忙しい仕事の合間に訓練に集中され、僅か 1 年半で見事実地試験に合格されました。私が本田航空で操縦教官となって一から訓練を担当した訓練生としては最初の“合格”でしたので、担当教官としてもとても喜ばしく大きな自信になりました。

今後も HFC で飛行されるとのことですので、引き続き飛行安全に留意され、フライトをより楽しんでいただけるようお願いしております。

担当教官 澤井康二

→ホンダエアポートで運航する皆さまへ～飛行機部からのお願い～→

○単独訓練機が着陸するとき「SOLO ON FINAL、KEEP SILENT」を通報します○

単独飛行機（原則としてライセンスを持たない練習生）がショートファイナル（200ft 付近）を通過したら、タワーにいる監督教官が「SOLO ON FINAL、KEEP SILENT」をアドバイザリー周波数より全機に対し一方送信します。これ以降は一時交信の自粛をお願いします。（余裕があればトラフィック状況を合わせて通報します。）

その後交信してきた機体には「STBY」を、余裕があれば使用滑走路を合わせて通報します。

SOLO 機がクリアー（滑走もしくは上昇が安定）したら、「SOLO CLEAR」を伝えます。そのあとは交信可能となります。STBY をかけていた機体があれば呼びかけます。

※ホンダエアポート周辺を飛行する全航空機は {AIC NR0041/14 飛行場等の周辺を有視界飛行方式により飛行する場合の安全対策について} に従って運用してください。

○燃料ゲージおよびサンプラーカップの地上備付けについて○

2018年10月17日より、燃料ゲージおよびサンプラーカップ（燃料をドレインする容器）について、地上備付けとします。飛行場の幌台車内の青い箱を置き場として表示してあります。燃料のドレインボトル同様に、使用時に該当機番のものを持っていく、使用後は戻すようにしてください。飛行中は機体に搭載しないでください。

他空港で燃料給油を伴うフライトの場合は、お泊りセット内に収容してカーゴへ搭載してください。お泊りセットには引火性液体のラベリングをし、専用のドレインボトル（ドレインした燃料を入れるボトル）を入れてあります。

ご協力をお願いします。



→ホンダエアポートで運航する皆さまへ～飛行機部からのお願い～→

PFD及びMFDへ×印が表示されても、地上で症状が再現されにくく解決が難しい場合があります。
 問題点解決のために以下の確認をお願いします。



×印表示されている間の

① ALERTSに表示されている内容を記録してください。(写メOK)



② MFDを操作し、「SYSTEM STATUS」画面の「LRU INFO」内の×印を確認し記録してください。

＜操作要領＞

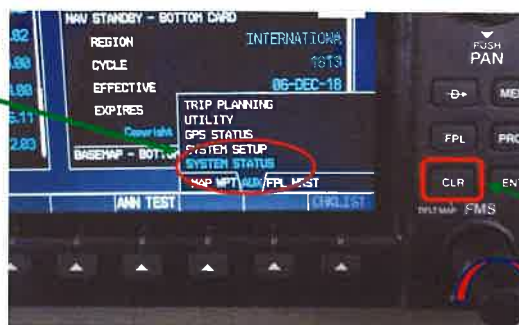
1. FMSノブの太いほうを右に回して「AUX」を表示



1

2. ノブの細いほうを右に回して

「SYSTEM STATUS」を表示



2

3. 「LRU INFO」内の×印を確認し記録(写メOK)

※ここに×印が表示されます



3

FMSノブを押すと、このようにカーソル(色が反転)が表示します。細いノブを回すとカーソルが下のほうへ移動し、隠れている項目も下のほうまで見ることができます。



4. 「CLR」を長押しすると MAP 画面に戻ります

～特定技能審査の心得～

前月号に引き続き、特定操縦技能審査についてご案内いたします。2年に1回の審査ですのでぜひ参考にしてください。

1. 平成29年7月よりメールアドレスの収集を開始致します

(1) メールマガジンの発行

- 操縦士の電子メールアドレスを収集し、安全啓発メールマガジンを発行
 - ・ メールアドレス登録数 : 599件
 - ・ メールマガジン発行 : 4件
(11/27、12/27、1/26、2/28)



1. 背景

小型航空機等の事故は、近年、年間10件程度の発生件数であったが、平成27年は20件を超える事故が発生しており、自家用機を含む小型航空機の更なる安全対策の構築及び推進が必要となっています。

今後の小型航空機等の安全対策を推進していく上では、電子メール等を活用し、操縦士へ直接的な安全啓発や情報発信の機能を強化することが重要です。

このため、特定操縦技能審査などを活用して操縦士の方の電子メールアドレスの収集を行います。

2. 収集の方法

～電子メールアドレスの提出方法は以下の2通りがあります。～

航空局へ直接提出する方法

(1) 下記「お問い合わせ先」のアドレス「hqt-kogataki@ml.mlit.go.jp」へ氏名、ライセンス番号、電子メールアドレス及びその他連絡先(住所、電話番号等)を記載し、メールを送信願います。

(2) 航空局より受信確認メールを送付致しますので、下記申請書の備考欄には「電子メールアドレスは国土交通省航空局安全部運航安全課へ提出済である」旨をご記載頂き、そのエビデンスとして航空局からの受信確認メールを操縦技能審査員の方に確認頂くようお願いいたします。

※ 当面の間、航空局からの受信確認メールの送信につきまして、多少のタイムラグが生じますことをご承知置き願います。

(3) なお、操縦士以外の方で本安全情報を受け取りになりたい方は、上記のライセンス番号に代えてご職業(所属、役職)等を記載して頂き、氏名、電子メールアドレス、その他連絡先とともに「hqt-kogataki@ml.mlit.go.jp」までご連絡下さい。ご連絡を頂いた後、航空局より受信確認メールを送信致します。

2. 特定操縦技能審査時に提出する方法

- (1) 操縦士の方は、特定操縦技能審査時に特定操縦技能審査申請書の備考欄にメールアドレスを記載して頂きます。
- (2) 操縦技能審査員の方は、審査結果報告時にメールアドレスが記載された特定操縦技能審査申請書の写しを提出して頂きます。

3. 個人情報収集同意書の提出

この度の電子メールアドレスの収集は操縦士の方の同意に基づく任意のものとなります。このため、電子メールアドレスを提出頂ける場合には、下記の個人情報収集同意書必要事項ご記入のうえ提出をお願い致します。

- (1) 特定操縦技能審査時にご提出頂く場合には、「操縦士の方→操縦技能審査員の方→地方航空局」の流れで提出をお願い致します。
- (2) 航空局へ直接ご提出頂く場合には、電子メールアドレスを送信して頂くメールに添付頂くか、又は送信メール本文に「ホームページ掲載の個人情報収集同意書に同意する」旨をご記載下さい。

1. 安全情報発信強化に向けた取組概要

- 小型航空機の安全情報
- 航空局ホームページのリニューアル

4-4 小型航空機ホームページのリニューアル

小型航空機の安全情報まで容易に辿り着けるようにホームページを変更



各団体の航空安全講習会等においてホームページのリニューアルを紹介

※航空局のホームページでは小型航空機の安全に関する情報を掲載しております。

国土交通省ホームページ（以下URL）で公開

http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000061.html

1. 事故防止対策
2. 特定操縦技能審査関係
3. 安全通達類（平成 30 年 4 月以降を予定）
4. リーフレット集
5. 航空機（機体・装備品）の安全情報
6. 小型航空機等に係る安全推進委員会（平成 28 年 12 月～）
7. 小型航空機の操縦士向けの安全啓発動画
8. 諸外国等の安全情報

2. 小型航空機の操縦士向けの安全啓発動画について

4-5 安全啓発動画の作成・配信

国土交通省

我が国における過去15年に発生した小型航空機の死亡事故の傾向を分析した結果、「LOC-I(Loss of Control-Inflight)」及び「CFIT(Controlled Flight into or toward Terrain)」の発生率が高いことから、LOC-I,CFIT等をテーマに「技量・知識向上」、「安全意識の徹底」を図るため、SRM(Single Resource Management)の考え方も盛り込み、ビデオ教材を作成。



ビデオ構成



① 日常フライトにおけるありがちな落とし穴を紹介
急に乗せてほしいと言われ重量計算せずに乗せてしまう

② 落とし穴が原因による航空事故の恐ろしさをCGで紹介
CGIによる操縦不能シーン

③ 事故をプレイバックし、どこで事故を防げたのかを紹介
正しい判断をする場面まで巻き戻し

④ 安全運航のための正しい判断方法について紹介
重量を再計算して重量オーバーを確認

ホームページ掲載やYouTubeによる配信、安全講習会における教材の利用

11

～小型航空機の安全な運航のために～

近年の小型航空機の事故の発生状況を踏まえ、小型航空機の操縦士向けに安全啓発動画「その時、あなたならどうする？～小型航空機の安全な運航のために～」を、平成 30 年 4 月 13 日に公開しました。

我が国における過去 15 年間（2002～2016 年）の小型航空機の事故の発生傾向分析で特にリスクが高いとされた「LOC-I（Loss of Control Inflight：飛行中の制御喪失）」「CFIT（Controlled Flight into or toward Terrain：操縦士が気付かないうちに地表に衝突）」等をテーマとして、具体的な事例を用いて日常運航で陥りがちな落とし穴やその対処方法等について学ぶことができます。

※■その時、あなたならどうする？～小型航空機の安全な運航のために～
国土交通省ホームページ（以下URL）で公開

mlitchannel

https://www.youtube.com/user/mlitchannel/videos?disable_polymer=1

<https://www.youtube.com/watch?v=4n423ERhX2s>

3. 最後に

審査を終えた操縦士の方は次の審査まで技量維持に関する訓練をしなくてもよいということではありません。下記指針を参考に効果的な技量維持に努めてください。

※自家用操縦士の技量維持方策に係る指針（平成 15 年 3 月 28 日付 国空乗第 2077 号）
国土交通省ホームページ（以下URL）で公開（PDF 形式）

<http://www.mlit.go.jp/common/000011392.pdf>

技能証明を常に活かすためにも、また忘れかけていた知識の洗い直しのためにも、そして操縦士として最新の知識を知っておくために技量維持をお願いいたします。特定技能及び技量維持その他の安全情報についてご不明な点が御座いましたら遠慮なく教官及びスタッフにお声掛けください。



第46回本田宗一郎杯 飛行競技大会

9月24日(日)、さわやかな天気恵まれ参加者17名で、第46回本田宗一郎杯飛行競技大会が開催されました！予選はノーマルランディング、270°スポットランディング、フラップアップランディングの3種目の接地点と飛形点の得点を競い、決勝戦へと進みました。決勝戦ではノーマルランディング2回の得点を競い、結果は以下の通りとなりました。

決勝戦結果(ノーマル×2)

優勝 新妻さん 45点

準優勝 末松さん 44点

3位 吉田(英)さん 41点



優勝の新妻さん。
昨年は惜しくも優勝を逃しましたが、再び優勝の座に返り咲きました！おめでとうございます♪

宣誓！！
TGLに懸ける思いは誰にも負けません！！





そう言えば、近々チエックなんだよな〜あ。

来年も多数の参加、お待ちしておりますワン！



Jr-WINGS IN KAWAJIMA

平成 30 年 10 月 20 日（土）、桶川市教育委員会・一般財団法人日本航空協会・日本模型航空連盟・ホンダフライングクラブ共同開催による子供航空教室を開催しました。

桶川市の 7 小学校の児童が参加をして、にぎやかな 1 日となりました。当日は晴天にも恵まれ開催となりました。初めに食堂にて飛行機はどの様に飛ぶのか学び、それを踏まえ模型飛行機を作成しました。

格納庫ではセスナの実機に乗り込んで操縦桿を動かしたり、展示されたドクターヘリやそれらの部品に興味津々でした。これから先も少しでも飛行機に興味と理解を持ち、将来パイロットへの道に志すきっかけになってくれたら嬉しいですね。

また、この行事には約 16 名のクラブ員をはじめ、埼玉防災の隊員方、参加小学校の教員方など、多くのご協力をいただきました。まことにありがとうございました。

HONDA AIRWAYS



新入会員紹介

No10309	菅谷 勝 様	2018. 7. 25	入会
No20015	鎌田 直彦 様	2018. 11. 10	入会
No10474	安念 英莉子 様	2018. 12. 8	入会
No10475	坂口 正 様	2018. 12. 8	入会

クラブ員の皆様へ

- 新年あけましておめでとうございます。昨年の総会にてクラブ規約変更等大きな議題もありましたが無事承認され、その後の様々なクラブ行事においては事故なく、進めていくことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。
- 特定操縦技能審査は有効期限45日前より受けられます。予約が取りにくい場合がありますのでお日にちには余裕をもって予約をしていただくよう、ご協力よろしく願いいたします。
また審査当日は必要な持ち物や準備がありますので、事前の確認を忘れずに行ってください。
- 冬のホンダエアポート恒例「荒川ジェット」がよく現れる季節となりました。40kt近く吹くことも珍しくなく、ご予約いただいていたところをなくなく天候キャンセルということも…。ご都合が合う方はどしどし前月からの予約希望を入れてください！もしくは空き枠のご利用もお待ちしております！
- 事務局ではフライトしたときのお写真を大募集中です！ウイングニュースに掲載してもよいという方は、club@honda-air.com までお願いいたします。

クラブ事務局 小山



ウイングニュース 234号

発行者/ホンダフライングクラブ事務局

〒350-0141

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

Tel 049-299-1111(代表)

